



相手に生きる

学校教育目標 「相手に生きることによって自己を生かす」
西中スタンダード「あいさつ」「歌」「清掃」「花」「服装」「時間」

たくさんの意見が交わされた第2回生徒総会



第50期生徒会役員
の皆さん
1年間ありがとうございました

18日に第2回生徒総会が開催され、前期生徒会のまとめを行いました。前期活動報告の審議では、建設的かつ各委員会の活動のよかった点等の意見が多く出されました。時間の都合で打ち切る場面が多く残念でしたが、正副議長さんにとって嬉しい悲鳴だったようです。

<継承> ~伝統を受け継ぎ、未来へつなぐ~

第50期役員が、先輩から受け継いだ西中スタンダードを具体的な活動で実現できるよう取り組み、3年生全員がその見本となるべく動いてくれました。



承認された第51期生徒会役員
の皆さん

ありがとうございました。次は2年生の番です。更に魅力ある更埴西中にするため、期待しています。

【第51期生徒会役員】

生徒会長	若林 蒼	校風委員長	児玉 滉斗	校風副委員長	藤岡 万祐
男子副会長	渡邊 雅大	学芸委員長	武井 綾音	学芸副委員長	山崎 舞
女子副会長	中山 優花	体育応援委員長	河野斗輝成	体育応援副委員長	石坂 綺菜
総務	和田 卓	整美委員長	原田 悠生	整美副委員長	宮澤 怜
総務	宮尾 泰成	視聴覚委員長	駒込 晴香	視聴覚副委員長	富岡 裕哉
会計	川原 寛太	図書委員長	高村 一聖	図書副委員長	服部 瀬奈
書記	窪田 早苗	編集委員長	丸山愛万音	編集副委員長	廣田 龍樹
代議員会議長	1月の代議員 会で互選	保健委員長	丸山永樹太	保健副委員長	若林 佑奈
代議員会副議長		造園委員長	内堀 洋	造園副委員長	北川原愛佳
		人権福祉委員長	北澤 朋樹	人権福祉副委員長	宮下 航輝
		給食委員長	北川原 慎	給食副委員長	宮寄 厘奈



サンタに扮した
Ben先生

ALT Ben先生 3学期は戸上中の勤務になります

昨年度の2学期より外国語指導助手として英語の授業でご指導いただいたベンジャミン レイベン先生が3学期から戸上中での指導に変わるため、お別れの式を行いました。22日の6・7組の最終授業では、治田小や八幡小の児童も参加して、Ben先生の指導でお菓子の家作り、そしてクリスマス会を開きました。菊作りでご指導いただいた金子さんもお招きし、大変盛り上がりしました。
(文責 長谷川)



全国学力・学習状況調査結果

4月に3年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査について、本校の結果は以下のとおりです。今後も授業を充実させていきます。ご家庭でも家庭学習等が充実しますようよろしくお願いいたします。

全国学力・学習状況調査の結果について

1 教科に関する調査

本校の調査結果については、国語・数学の各教科の平均正答率がABともに、全国・長野県よりもやや下回っているという結果が出ました。各教科の概要は次のとおりです。

国語

- ・国語A（主として知識）、国語B（主として活用）ともに全国、県平均を上回った設問もありましたが、全体的な傾向としては同程度かやや下回りました。
- ・A問題に関しては、領域別で「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は同程度でした。「話すこと・聞くこと」と「読むこと」はやや下回りました。特に平均が高かった設問は「語句や文の使い方に注意して、伝えたい心情にふさわしい言葉に書き換える」が5%以上高く、また「文章に即して漢字を正しく書く」設問でも20%以上高かった漢字もありました。
- ・B問題に関しては、領域別で「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の全てでやや下回りました。

数学

- ・数学A（主として知識）、数学B（主として活用）とともに全国、県平均を上回った設問もありましたが、全体的な傾向としてはやや下回りました。
- ・A問題に関しては、領域別で「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」はやや下回りました。特に平均が高かった設問は「関数の意味理解」が15%以上高かったです。
- ・B問題に関しては、領域別で「資料の活用」は同程度でした。「数と式」「図形」「関数」はやや下回りました。平均が高かった設問は「式変形」や「確率の説明」や「グラフの読み取り」でした。

2 質問紙調査

生徒の学習への関心や、学習習慣、価値観等をアンケート形式で調べた調査です。生活習慣と教科の学力との間には相関関係があると考えられ行われています。

本校の結果は「国語」は昨年度に比べて、「好き」と答えている生徒は同程度でした。「数学」は昨年に比べて、「好き」と答えている生徒がやや下回りました。また、「国語の授業の内容がよく分かる」は昨年度に比べて、やや上回りました。「数学の授業の内容がよくわかる」は昨年度に比べて、やや下回りました。

基本的な生活習慣では、「朝決まった時間に起床し朝食をとることや、ほぼ同じ時間に寝る」という習慣がついている生徒が多く、基本的な生活習慣は確立されており好ましいと思われます。

自己実現・自己肯定感では、「日々の学校生活の中での成功体験や挑戦経験、教師からの称賛の経験が積み重ねられているが、それらの経験が自己肯定感を強くしたり、自己実現につながったりしている生徒はまだ少なく、また、将来について考えが定まらない生徒がいると考えられます。

友達同士のコミュニケーションは円滑に行われているが、発表する場における「伝える」という行為については、今後の練習が必要と思われます。よって1、2年生の総合的な学習の時間や各教科での発表の機会や指導から充実させていくことが大事だと考えられます。

3 今後の対応

- ・本調査や総合テストから、基礎的・基本的な内容の定着を一層図っていくことが大事だと考えています。これからは受験期に向けて、**国語の漢字練習**や**数学の日々の演習プリント**等の基礎力の確実につけ、また「**自分の考えを根拠をもって書く力**」「**自分の考えを根拠をもって説明する力**」がついていくよう、授業中の**口頭説明**や**筆記説明**の時間を充分とっていきます。
- ・学習習慣の向上については、家庭での勉強時間増加につながるよう、今年度も東京大学大学院教授、市川伸一先生をお招きして、多くの教科で「**学習力を育てる授業づくり**」をテーマに進めています。予習・復習につながる「**学び方を学ぶ**」学習に力を入れた授業改善にこれからも努めていきます。